

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	ぐんぐん九条		公表日 令和8年3月5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	活動スペースを広く取り(基準値の約2倍)、個別活動を行う部屋を2部屋設置しています。	施設の定員とスペースの適正な関係について職員全員が理解を深め、緊急時や混雑時にも的確に対応できる体制を構築しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	スタッフ1名に対し児童2.5名の配置を実施し、安全に支援できる職員数を配置しています。	急な欠員や状況変化にも臨機応変に対応できる体制や制度理解の推進を整えて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	視覚的な支援を大切にし、児童が使用する玩具等は整理整頓して児童の手の届くところに配置しています。	継続して取り組みます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃を徹底して行い、清潔に保てるよう努めています。基本的な感染予防対策も実施しています。	継続して取り組みます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて個別活動室を利用できる環境を整えています。	継続して取り組みます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	職員がPDCAサイクルに主体的に関与し、現場実態に即した実効性の高い業務改善を実現しています。	継続して取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向けの評価表を通して、日ごろのご意見やご要望を伺う機会を設けています。いただいたご意見は職員間で共有・検討し、業務改善に反映しています。	継続して取り組みます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	日々の朝礼や申し送りノートを通して職員が周知できるよう努めています。その他、課題や改善案を共有し、検討を行ったうえで具体的な業務改善につなげています。	日々の朝礼や申し送りノートに加え、必要に応じて申し送りの機会を設けます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	現在は内部評価を主軸としています。	今後は外部機関の意見や助言も取り入れながら、客観性を高めた評価体制の整備に向けた検討を進めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画に基づき、法人内研修を定期的実施しています。職員の資質向上や専門性の向上を目的として計画的に設定しており、専門性の高い支援を提供できるよう努めています。	継続して取り組みます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援の目的や内容を明確にした支援プログラムを適切に作成し公表しています。支援方針や提供内容を分かりやすく示す事で、透明性の確保と質の向上に努めています。	継続して取り組みます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	お子様の発達状況や生活状況を把握するとともに、保護者様からの聞き取りを通してニーズや課題を整理し、客観的な分析を行ったうえで児童発達支援計画を作成しています。	継続して取り組みます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者のみで決定するのではなく、支援にかかわる職員が情報共有と協議を行っています。日々の支援で把握している様子や変化を持ち寄り、共通理解のもとで計画を作成しています。	継続して取り組みます。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	作成した児童発達支援計画書は、支援にかかわる職員に共有しています。計画内容や目標について共通理解を図ったうえで、日々の支援を計画に沿って実施しています。	継続して取り組みます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルな評価を実施するとともに、日々の行動観察や記録等によるインフォーマルなアセスメントも活用し、総合的に把握しつつ、より客観的で適切な支援につなげています。	継続して取り組みます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援ガイドラインに示された各視点を踏まえながら、アセスメント結果に基づき、お子様の発達課題や生活状況に応じた必要項目を設定しています。目標は具体的な評価可能な内容とし、それに対応する支援方法を明確に記載しています。	継続して取り組みます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	児童発達支援管理責任者を中心に、支援にかかわる職員がチームで協議しながら立案しています。各職員の観察や専門性を活かし、お子様の発達段階やニーズに応じた内容を計画しています。	児童発達支援管理責任者を中心に、支援職員がチームで協議しながら計画を立案する体制を引き続き実施します。職員一人ひとりの観察や専門性を活かし、子どもの発達段階や個別のニーズに応じた支援計画の策定をさらに強化してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	お子様の発達段階や興味・関心・日々の様子に応じて、内容や方法を柔軟に調整し、効果的な支援につながるよう工夫しています。	集中力が高まる時間帯に課題活動を行ったり、興味のある遊びを取り入れながら学習を進めたり、個々のペースに合わせて活動時間や手順を工夫することで、効果的な支援につなげていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	お子様の状況や課題に応じて、個別活動と集団活動のバランスを考慮しながら児童発達支援計画を作成しています。個別支援でのきめ細やかな関わりと、集団活動での社会性や協調性の育成を組み合わせ、効果的な支援に努めています。	個別支援で課題達成や技能向上に焦点を当てつつ、集団活動でのコミュニケーション訓練や協調行動の獲得を組み合わせています。これにより、個別支援と集団活動の双方を通じて、効果的な成長支援を行ってまいります。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	職員間で打ち合わせを行い、支援内容、留意点、役割分担を確認しています。朝礼や申し送りノートで他の職員にも周知する事で、チームでの連携体制を確実にし、計画に沿った支援の提供に努めています。	支援内容や留意事項、役割分担を明確化するとともに、朝礼や申し送りノートを通じて全職員への情報共有を徹底します。これにより、チーム全体で連携した支援体制を構築し、計画に基づく支援の質をさらに向上させていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	実施した支援の振り返りを行っています。お子様の反応や支援の効果、改善すべき点などをチームで共有し、次回以降の計画や活動への反映に努めています。	実施した支援について定期的に振り返りを行い、子どもの反応や支援効果、改善点をチームで検討・共有していきます。これらの成果や課題を次回の計画や活動に反映させることで、継続的な支援の質向上に取り組んで参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の支内容は記録に残し、支援の経過や児童の反応・変化を可視化しています。記録を振り返る事で支援の効果を検証し、課題があれば原因を分析したうえで支援方法の見直しや化以前につなげています。	継続して取り組みます。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月に1回のモニタリングを実施し、支援の実施状況や目標の達成度、本人の発達状況を確認しています。その結果を踏まえて状況に応じた適切な修正・更新を行い、常に本人の成長や課題に即した支援となるよう努めています。	継続して取り組みます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス担当者会議や関係機関との会議には、お子様の状況や日々の様子を十分に把握している職員が参加しています。現状や課題、支援の効果について具体的に説明できる体制を整え、適切な情報共有と連携に努めています。	継続して取り組みます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	地域の各関係機関と連携し、包括的な支援を行う体制を整えています。情報共有やケース会議を行いながら、お子様の状況に応じた切れ目のない支援の提供に努めています。	継続して取り組みます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	平行利用や就園・就学に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を実施しています。また支援内容や配慮事項について情報共有を行い、相互理解を図りながら一貫性のある支援につなげています。	継続して取り組みます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	進学先と支援内容や配慮事項について情報共有を行い、相互理解を図っています。これまでの支援経過や有効であった関わり方等を丁寧に引き継ぐことで、就学後も切れ目のない支援が継続できるよう努めています。	継続して取り組みます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	児童発達支援センターと支援上の課題や対応方法について相談できる体制を整え、専門的視点からの意見を取り入れることで、より適切で質の高い支援につなげていけるよう努めています。	継続して取り組みます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	イベント時の公園遊びやお買い物体験、外出支援などの機会を通して、地域の中で実際に関わる経験を大切に、社会性やコミュニケーション力の育ちにつながるよう努めています。	引き続き公園遊びやお買い物体験、外出支援など、地域での体験の場を積極的に設け、地域の中での関わりを通して、子どもたちの社会性やコミュニケーション能力の発達を促すことを目的に、計画的かつ意図的な支援を行って参ります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	お子様の様子や支援の状況について保護者様と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を図っています。ご家庭と事業所が同じ方向性で関わる事ができるよう、継続的な情報共有を大切にしていけるよう努めます。	継続して取り組みます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	現在は開催を検討・調整中ですが、ご家族様も参加できる研修や必要な情報の提供を進めて行きたいと考えています。	現在は開催の検討・調整段階にありますが、今後はご家族参加型研修や必要な情報提供を計画的に実施し、保護者様との協働体制の強化に取り組んでまいります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に、運営規定や利用者負担について、分かりやすく丁寧な説明を行っています。保護者様やお子様安心してサービスを利用できるよう、疑問点や不安にもきめ細かく対応しています。	継続して取り組みます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児童発達支援計画を作成する際には、お子様や保護者様の意思を尊重し、お子様の最善の利益を最優先に考える事を基本としています。そのため、モニタリング等を通じ意向を確認し、計画にしっかり反映できるよう努めています。	継続して取り組みます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	児童発達支援計画に沿って、どのような支援を行うかを具体的に説明しています。そのうえで、保護者様に計画書を確認していただき、内容に同意をいただけてから支援を行っています。	継続して取り組みます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談の際には、保護者様の意向をしっかりと聞きし、専門的な視点から最適な支援を提供しています。お子様の成長を保護者様と事業所が一緒に支えられるよう心面でのサポートも含め、丁寧なコミュニケーションを大切にしています。	継続して取り組みます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者の皆さまが互いに支え合い、安心して話ができる場となるよう、保護者会などを開催し、ご兄弟の皆様が交流できる機会についても大切に、今後そのような場づくりを進めていきたいと考えています。	現在は開催に向けて検討・調整中ですが、今後はご家族様も参加できる研修や必要な情報提供を積極的に進め、保護者様との連携をさらに深めていきたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	お子様や保護者様からのご相談やご要望に対応できる体制を整えています。その内容についても周知を徹底し、実際に相談や申入れがあった際には、速やかに内容を確認し、適切に対応しています。	継続して取り組みます。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	アプリのチャット機能などを活用し、日々の活動内容や行事予定を継続的にお知らせしています。保護者様が必要な情報をいつでも確認できるよう、迅速な情報共有と丁寧な連絡対応に努めています。	継続して取り組みます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	職員一人ひとりが個人情報の重要性を十分に理解し、適切かつ厳重な管理を徹底しています。保護者様には契約時に個人情報の取り扱いについて丁寧に説明し、ご同意をいただいたうえで、安全・安心な運営体制を整えています。	継続して取り組みます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	お子様一人ひとりの特性に配慮し、理解しやすい方法で情報を伝えるよう努めています。視覚的な支援ツールの活用や個々に応じた丁寧な声かけを通して、円滑な意思疎通を図り、安心して活動に参加できるよう支援しています。	継続して取り組みます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域清掃や商店街の催しに積極的に参加することで、地域社会とのつながりを育み、交流の機会を大切にしています。	今後もこのような取り組みをさらに重視し、地域との連携や交流を一層深めていきたいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルに基づいた研修を行い、その内容を保護者様にもお伝えしています。年に2回、避難訓練や感染症への対応訓練を実施し、いざという時に備えて職員一人ひとりの意識を高め、安全に過ごせる環境づくりを大切にしています。	継続して取り組みます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	万が一の災害に備えて業務継続計画（BCP）を整備し、避難や救出などの訓練を定期的に行いながら、安心・安全な環境づくりに努めています。	継続して取り組みます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約の際に服薬や発作などの大切な情報を確認し、ご同意のもとで管理しています。職員全員が対応マニュアルを理解し、お子様の健康状態を正確に把握することで、安全で安心して過ごせる環境づくりに努めています。	継続して取り組みます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時にアレルギーの有無を確認し、医師の指示に沿った対応を行っています。情報は常に更新し、職員全員に共有することで、お子様が安心して過ごせる環境づくりを大切にしています。	継続して取り組みます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に基づき、年間を通じた研修や訓練を計画的に実施することで、確実な安全管理体制のもとで支援を行っています。	継続して取り組みます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画に沿った具体的な取り組み内容を保護者様にお伝えし、安全管理への理解と協力を得られる体制を整えています。	継続して取り組みます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット報告を通じて事例の周知を行い、職員間で再発防止の方策について定期的に協議しています。	継続して取り組みます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止・身体拘束適正化研修をはじめとした研修機会を職員に定期的に提供し、職員が適切に対応できる体制を整えています。これにより、日々の支援における虐待防止や身体拘束の適正な対応が徹底されています。	継続して取り組みます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束はやむを得ない場合のみを行い、事前に保護者様の同意をいただき支援計画に反映させています。実施時には記録を必ず残し職員間で共有し、拘束をできるだけ避ける環境づくりを第一に取り組んでいます。	継続して取り組みます。	